

# 授業科目 基礎看護技術演習Ⅱ

【担当教員名】 川崎 久子 他		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 人々の健康を促進するために必要な援助方法を理解し、診療に伴う看護技術の基本を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診療における看護の役割について説明できる。</li> <li>2. 感染を防ぐ看護技術の理論的な根拠について説明できる。</li> <li>3. 滅菌物の取り扱いに必要な看護技術を修得できる。</li> <li>4. 呼吸を整える看護技術の理論的な根拠について説明できる。</li> <li>5. 吸入と口鼻腔吸引に必要な看護技術を修得できる。</li> <li>6. 与薬に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。</li> <li>7. 筋肉内注射に必要な看護技術を修得できる。</li> <li>8. 点滴の準備に必要な看護技術を修得できる。</li> <li>9. 検査に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。</li> <li>10. 採血に必要な看護技術を修得できる。</li> <li>11. 排泄障害に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。</li> <li>12. 導尿に必要な看護技術を修得できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	診療に伴う看護技術			1	講義 (長谷川隆雄他)
	感染を防ぐ看護技術			2	
2	滅菌物を取り扱う看護技術			3	演習 (基礎看護学全教員)
3	呼吸を整える看護技術			4	講義 (長谷川隆雄他)
4-5	吸入と口鼻腔内吸引の看護技術			5	演習 (基礎看護学全教員)
6	与薬に伴う看護技術			6	講義 (長谷川隆雄他)
7-8	筋肉内注射の看護技術			7	演習 (基礎看護学全教員)
9	点滴準備の看護技術			8	演習 (基礎看護学全教員)
10	検査に伴う看護技術			9	講義 (長谷川隆雄他)
11-12	採血の看護技術			10	演習 (基礎看護学全教員)
13	排泄障害に伴う看護技術			11	講義 (長谷川隆雄他)
14-15	一時的導尿の看護技術			12	演習 (基礎看護学全教員)
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		基礎看護学 [ 3 ] 基礎看護技術Ⅱ	藤崎郁	医学書院	2009・2,900円＋税
参考書		基礎看護学 ( 3 ) 基礎看護技術Ⅱ	深井喜代子編	メヂカルフレンド	2007・3,400円＋税
		実践へのフィードバックで活かす ケア技術のエビデンス	深井喜代子監	へるす出版	2006・4,200円＋税
		写真でわかる 基礎看護技術1	村上美好	インターメディカ	2005・2,500円＋税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 出席状況：10% 演習内容に基づいた課題：10% 期末試験：80%			【履修上の留意点】 ・演習で各基礎看護技術を修得するためには、事前学習を十分に行う必要がある。 ・演習に際しては、ユニホームを着用し、それにふさわしい身だしなみにすること。		